

(仮称) 宮古広域公園基本構想の概要

基本理念

基本構想では、この公園の整備・運営を通じ、目指すべき方向性や具体的なあり方として、基本理念と目標像、基本方針と主な機能などについて整理しています。

● 公園の基本理念

- 海と海辺は沖縄県を代表する観光資源で、特に宮古圏域の海は『宮古ブルー』とも称されるように、白い砂浜と透明度の高い海のコントラストが織りなす海岸風景をつくっていて、観光客にも親しまれている場所です。
- この「青い海」は、南国の太陽と空、珊瑚礁や砂浜、海辺の動植物などの多様な自然により形づくられたもので、貴重な恵みの場であり、先人によりこれまで守られてきたものです。
- 海と海辺を活かした公園づくりにあっては、この宮古の青い海と、そこで育まれた自然と文化を後世まで継承していくための自然環境等の保全を基本とします。
- そのうえで、自然とふれあう中で海の豊かさや楽しさ、こわさなどを体感・体験できる仕組みを構築します。また、海や海辺と密接に関わって培われてきた宮古圏域の歴史や文化、なりわいなども伝えていく場とします。
- 公園の利用者は地元の人々や県民、そして観光客と幅広い階層を想定し、色々な人々がふれあう中で新たな交流が芽生え、公園が地域の拠り所やシンボルとなり、物的側面ばかりでなく心の面でも地域の誇り、そして活性化に役立つような公園とします。
- なお、このような取り組みは公園のみで行うのではなく、既存の施設や資源、人材などと役割分担や連携を図りながら取り組んでいくこととします。



宮古の美しい青い海とそこで育まれた豊かな自然と文化を活かした
(仮称)『ミヤークヌ・オー・イム・パーク (宮古の青い海公園)』の
実現

● 公園の目標像(基本理念を具現化するイメージ)

- ・ 美しい海辺の景観や自然を守り育てる公園
- ・ 海や海辺での多様なレクリエーションを提供する公園
- ・ 海と結びついた生活や遊びを体験できる公園

基本方針

(仮称)宮古広域公園の基本理念、目標像を実現するため、「自然と景観」、「利用・活用」、「整備・運営」に関する3つの基本方針を設定しました。そのうえで、それぞれの基本方針に対応した公園づくりの取り組み方針を定めています。

自然と景観に関する方針

宮古の美しい海と海辺の自然や景観を守り育てる公園をめざします

- ・優れた自然環境を保全・創出し、公園づくりに活用します
- ・宮古島らしい景観を保全し、新たな公園景観を創出します
- ・エコに配慮した取り組みを行います

利用・活用に関する方針

日常利用から観光・スポーツ利用など幅広い用途に柔軟に対応します

- ・地域の人々の日常レクリエーション利用に対応します
- ・観光及び滞在型レクリエーション利用に対応します
- ・多彩なイベント、スポーツコンベンションによる活用に対応します
- ・宮古圏域の豊かな歴史と地域の文化の活用と発信に取り組みます
- ・地域の人々の知恵や技術、おもてなしの心を活かしながら、人々の交流の場とします
- ・公園利用者の安全・安心を確保します

整備・運営に関する方針

多くの方に役立ち、みんなで作くり管理する公園づくりを行います

- ・地域の振興に寄与する公園づくりを行います
- ・宮古圏域の防災に寄与します
- ・みんなで作くり管理する公園をめざし、管理負担の軽減を図ります
- ・スポーツ施設や観光施設、歴史文化施設などと連携し、相乗効果の発揮を図ります
- ・長期的な展望のもと、段階的な整備による着実な公園づくりを進めます
- ・適切な公園マネジメントの実施による公共サービスの向上に努めます

◆ 基本方針の考え方

公園づくりの方針は、自然環境の保全から公園におけるレクリエーション利用、そのための施設整備など幅広い事ごとに関わります。

3つの基本方針がバランス良く調和し合い、それぞれの方針で目指す公園のあり方が最大限に実現される公園づくりを進めます。



主な機能

（仮称）宮古広域公園では目標とする公園と基本方針にもとづき、次のような機能を備える公園としています。

《（仮称）宮古広域公園で予定する主な機能》

環境保全・景観形成機能	海辺や背後の緑地の保全・創出と活用	<ul style="list-style-type: none"> 海辺や緑地に影響を与える整備は最小限にとどめ、保全を基本 モクマオウの人工林などは、自然（潜在植生）への遷移を手助け 宮古圏域の代表的な自然（海岸林、御嶽林、松林等）の演出 散策道や利用プログラムの整備による自然の活用 珊瑚礁や水資源を守るための公園が主体となった取り組みの地域への拡大
	宮古島らしい景観の保全と創出	<ul style="list-style-type: none"> 公園内に残された自然景観の保全 新しい景観演出拠点の形成 公園から伸びる道路軸や海岸線など、景観ネットワークの構築
	エコアイランド・宮古島との協働	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の保全や循環への取り組み 自然エネルギーの活用や資源リサイクルへの取り組み 宮古島全体のエコ情報の発信
観光・レクリエーション機能	水や緑などの自然を活かした子どもの遊び空間	<ul style="list-style-type: none"> 遊具などの施設に頼らない遊び空間の整備 利用プログラムの提供などに「学び」の支援 海のこわさや楽しさを伝える「海辺のプレーパーク（冒険遊び場）」づくり 緑の中での自然とのふれあいの場の確保
	海辺の多様なレクリエーション環境	<ul style="list-style-type: none"> 憩い、くつろぎ、眺めるための海辺の環境整備 海辺の遊びやマリンスポーツなどの支援 海をテーマとした自然体験や環境学習の実施 冬期や荒天時に海に入れない時でも参加できる模擬体験
	亜熱帯の花木や草花による演出	<ul style="list-style-type: none"> 地元では一般的でも、観光客には目新しい植物材料の使用 風雨をしのいで開花を長持ちさせるための屋内、半屋外の展示 花や緑を見るだけでなく、知ってもらうための展示の工夫
	地域の歴史文化の活用	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化を見せるのではなく、体感・体験できる仕組みづくり 本物を求めて現地や博物館等に訪れるようなきっかけの場づくり
	多様なイベントの開催と支援	<ul style="list-style-type: none"> 日常の教室などから大型のイベントまで、公園が仕掛ける多彩なイベント 大型イベントへの場所やノウハウの提供 トライアスロンなどの既存イベントの支援
スポーツ・健康運動機能	住民の手軽な健康運動の場	<ul style="list-style-type: none"> 多目的に利用できる施設（芝生広場、園路等）の整備 健康運動をサポートする利用プログラムの提供 身近な公園などでの健康運動を支援するための人材の育成 健康増進や交流を目的とした大会等の開催
	競技型スポーツでの利用	<ul style="list-style-type: none"> 多目的利用できる芝生広場等の複数面の確保によるトーナメント戦などの会場利用 シャワー、更衣、倉庫、会議などの便益施設の確保
	スポーツ合宿等の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 大学、社会人などのアマチュア団体や個人利用 高次な施設整備と管理が求められるプロ対応については引き続き検討
防災機能	防災機能の付与	<ul style="list-style-type: none"> 周辺施設との防災機能の連携 救援活動支援機能 復旧・復興活動支援機能
	公園利用に関する安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> 海辺の事故への対応 公園利用時の緊急避難方策等の確立

公園候補地「前浜地区」の状況

■ 立地条件からみて

- ・平良市街地や宮古空港、リゾート施設が集積した南部の海岸エリアから自動車ですぐに20分圏内にあります。
- ・まとまりのある敷地で、50ha以上の面積が確保できます（カママ嶺公園の約5倍）。
- ・敷地はほぼ平坦です。

■ 自然条件からみて

- ・透明度の高い海と真っ白な砂浜のビーチが広がります。
- ・ビーチの一部には、タイドプールなどもある珊瑚礁海岸も分布します。
- ・ビーチの背後には、防潮林の機能を持つ樹林地が続いています。
- ・海岸が西や南を向く前浜は、夕陽を眺めるポイント、南十字星を見ることができる場所としても知られています。

■ 社会条件からみて

- ・サトウキビを中心に、ハタバコの畑などが広がる地域です。
- ・海岸沿いの樹林地は保安林として開発が規制されています。
- ・農地以外の土地利用が制限される、農業振興地域内の農用地指定地が一部にあります。
- ・対岸の来間島や来間大橋への眺望のほか、西・南を向く前浜は、夕陽を眺めるポイント、南十字星を見ることができる場所としても知られています。
- ・宮古島市の計画では、一帯は「リゾート・レクリエーション空間の充実を図る地区」とされています。

■ 現在の整備と利用の状況

- ・宮古島を代表する観光スポットであり、訪れた観光客の満足度が最も高い場所です。
- ・宮古島市が整備したマリンレジャーの拠点施設である「ウィンディまいばま」や、県管理港湾の「来間前浜港前浜地区」があり、主に遊漁船が利用しています。
- ・民間の観光施設である「宮古島熱帯果樹園まいばり」があります。
- ・ビーチとしての利用のほか、全日本トライアスロンやビーチバレー全国大会など、大規模なイベントが毎年開催されています。

■ 周辺の状況

- ・面積9haの運動施設一式を持つ下地公園や、民間のゴルフ場、リゾートホテルなどが隣接しています。
- ・近くには、ラムサール条約の登録湿地である「与那覇湾」があり、夏にはサニツ浜カーニバルの開催や、前浜地区とを結ぶ遊歩道などの宮古島市の計画があります。